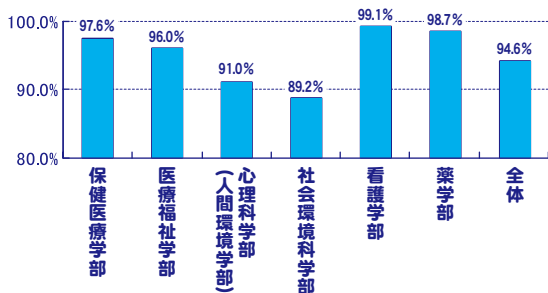


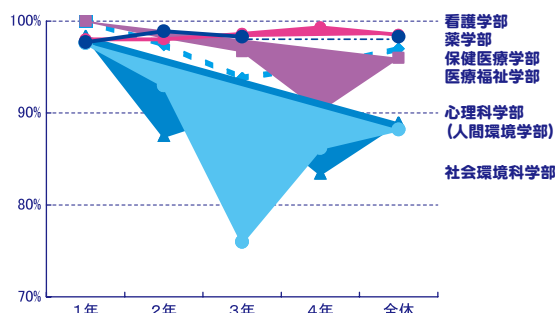


～定期健康診断の受診率について～

【図1 学部別受診率】



【図2 学年別受診率】



今回、健康診断を受けていない方は、早急に医療機関で健康診断を受けるようにしてください!!
(外部受診用の用紙を保健室までとりに来てください。)

4月に実施した定期健康診断の受診率は、全体で94.6%でした(昨年度94.5%)。未受診者数は291名でした。

図1と図2に、学部と学年の受診率をまとめましたが、学部により10%も差がありました。

学年では1年次生がどの学部も98～100%と高く、2・3・4年次生は低下傾向があります。

特に心理科学部・社会環境科学部の受診率が低く、なかでもK科4年次生、L科2年次生、A科3年次生、I科3年次生は、受診率64%～78%ととても低い結果となっています。健康診断を受けることは、健康的な学生生活を送るためにも、また病気を早期に発見するうえでも、とても重要なことのひとつです。今年度も健診結果で早期に治療開始となった人もあり、自覚症状のない病気もありますので必ず受診しましょう。

また、結果で異常のある人のみ電話で連絡させていただきました。連絡がない人は

安心してください。

保健室では血圧、体脂肪、アルコールパッチテスト、呼気中のCO濃度(タバコ関係)等の自己検査ができます。いつでも来室してください。



ココロとカラダは健康でかかろ

第1回 こころとからだの健康教室を開催しました!

1年次生のみならず、大学には慣れてきましたか? 大学への適応に精一杯で、大学周辺の地理が分からず、いざという時に困っている人もいろいろありません。とくに一人暮らしの場合、家事から健康管理に至るまで全てしなければならぬので大変です。そこで、保健室・学生相談室では一人暮らしのための健康教室(5回コース)をはじめ

まず健康チェックと簡単な心理テストで健康状態を把握。お酒に対する体質はアルコールパッチテストで実証。大学生に多い低血圧や便秘について学び、福祉会の協力のもと、簡単にバランスのよい調理(野菜スープ・炊込みご飯・納豆炒飯)を実施。そして、大学生活を健康的に過ごすコツについて話し合いました。「知りたいことが学べてよかったです」という感想



が多く聞かれました。秋には第2回を予定しています。ぜひご参加ください!

突然倒れて死に至る、その原因の多くは、心室細動という心臓の病気です。病院外での心臓発作による心停止は、年間約2万～3万人です。この唯一の治療は、「除細動器」という装置で電気ショックをかけることです。処置が遅れるほど、時間とともに救命率が下がってしまいます。

2004年7月1日から救命現場に居合わせた誰でもが、このAEDを使用することができるようになり、本学も、2006年2月から東広島・呉キャンパスともに、防災センター(1号館1階)にAEDを設置しています。



誰でも操作
できます!

取扱方法は、簡単!!
フタを開ける(自動的に電源がONとなる)、
その後は音声ガイダンスに従うだけです。

**あなたの行動で
救える命
があります。**

※「AED」とは、自動体外式除細動器です。

広島国際大学に「AED」を設置しました!

1号館1階の防災センターに配備しています(東広島・呉)